



ふるさと会よりご報告

会長（高松市観光大使）

池田 克彦

会員の皆様お元気のこと存じます。ふるさと会の恒例の会報「なにしょんな」をお届け致します。今年は7月6日(土)



都内で総会（ふるさと交流）を開催致します（詳細は後述）今年度も松茸山再生事業を少し拡大させた取り組みを考えており、10月末に京都の松茸再生の権威である吉村先生に高松塩江へカンファレンスで来て戴く予定です。また今年は3月20日から瀬戸内国際芸術祭2013が開催されています。あの瀬戸内の眩しい空と海を訪れてみたいと思います。以下に香川県及び高松市の広報等からと会の動きをご紹介します。

①うどん県それだけじゃない香川県の平成25年度当初予算が発表されました。予算規模4274億円。○緊急課題（交通事故死亡事故抑止総合対策・いじめ不登校対策・がん総合対策・市町と連携移住交流事業等）○暮らしの安全安心対策（民間住宅耐震化・私立学校耐震化助成・津波高潮対策・ため池緊急防災対策・安全安心なまちづくり推進事業等）○明日への成長への軸を創造（希少糖関連PJ・オリブ生産拡大販売競争強化・集落営農の推進・さぬき讚フルーツの生産拡大事業・航空ネットワーク充実強化対策・瀬戸大橋記念館リニューアル記念事業・瀬戸内国際芸術祭事業等）が予定されています。

②12月20日～26日市内中央公園等で第26回高松冬まつりが開催され、音楽祭・国際文化交流・ダンスフェスティバル等が行われました。

③12月市議会定例会で塩江町出身の佐藤好邦議員（同志会）が、塩江地区3小学校廃校後の跡地活用について地域住民の声を聞く場の設置について一般質問を行いました。答弁として、廃校となる3小学校は、地域の公共施設や災害時の避難施設として重要な機能を有している。塩江地区コミュニティ協議会、3小学校区の住民から意見を聞き地域の实情に適した跡施設の基本的な考え方をまとめる。としています。

④12月1日安原西谷八幡神社で15年ぶり新嘗祭でお神楽が奉納されました。1月の成人式に18名（男9名 女9名）が参加しました。

⑤1月29日都内銀座 sun-mi 高松で高松市観光大使研修会が、大西市長、拉致の中山恭子参議院議員、野球の中西太さん、岡内欣也三菱UFJ信託銀行取締役会長さんら40名近くが参集、賑やかに有意義な内容で開催されました。

⑥4月から高松市役所の組織機構が変わりました。文化財課が創造都市推進局へ移管、健康福祉局に長寿福祉部が設置されました。創造都市推進局の商工労政課が産業振興課に名称変更しました。危機管理

監が新たに設置（副市長が担当）されました。

⑦東谷農村歌舞伎が香川町農村歌舞伎保存会主催で、4月28日同町の平尾神社境内横の歌舞伎小屋「祇園座」で開催されました。

⑧高松市25年度当初予算が発表されました。一般会計1474億円、特別会計（合計）1024億8419万円、病院事業会計90億8301万円、水道事業会計122億7068億円、下水道事業会計166億8915万円。特色として、一般会計予算規模は対前年度比より0.4%増、重点取組事業12項目・119事業で約210億円計上。地域の未来を支える人づくり・文化スポーツ振興・環境保全と地球温暖化への対応・安心安全できる生活環境向上・子育て支援・健やかに暮らせる保健福祉医療環境づくりなどの事業です。

⑨ふるさと会の役員会を12月・3月（佐藤光伯さんの送別会も兼ね）・4月と開催、4月には24年度の事業結果報告と25年度事業予定を決めました。4月13日東京・別海ふるさと会総会に参加しました。

特集 ふるさと塩江

会長 池田 克彦

去年は地元ふるさとの塩江はあまり景況がよくなく、ペンションとまどさんが閉鎖しました。突然のことだったので驚きました。玉の湯温泉ヴィラ塩江が奥塩江ぼかぼか温泉に変わりました。5月の連休に男の孫2人連れて東北の被災地、釜石・大船渡・気仙沼を訪ね、元気な1本松と国道沿いにまだ放置されている貨物船、海岸に接している土地は家もなくただの平地が続く瓦礫がうず高く積まれている情景を見てきました。復興が進んでいない印象でした。しかし、それぞれの町でふるさとを元気にしようとする活動があり、商店会・農協・漁協・青年団など我が故郷を何とかせねばの一念でしょう、熱い気持ちが伝わって来、お蔭様でお土産を買いすぎました。今回の特集は、ふるさと塩江について、香川県東京事務所所長さんと高松市塩江支所長さんに、4月にご赴任された事と合わせご多忙のところご寄稿をお願いしました。心良く引き受けて頂きましたのでご紹介申し上げます。併せふるさとの同級生や塩江に移り住まれた若者をご紹介します。ご寄稿頂いた皆様に紙面を借りて御礼を申し上げます。

塩江について



香川県東京事務所所長

木村 清貴

高松・塩江ふるさと会の皆様、はじめまして、今年4月から香川県東京事務所所長を務めている木村と申します。池田会長様はじめ、会員皆様方には、郷土香川の発展並びに塩江町の活性化の支援に取り組んでいただいております。深く感謝いたします。

さて、私が塩江に抱くイメージは、温泉と自然豊

かな山並みの町というものです。

平成になってから5・6年間、当時所属していた課の親睦行事で塩江の民宿にお世話になり、昼過ぎからバーベキュー、夜は温泉につかり、翌日の昼に打ち込みうどんを食べて解散という、とても楽しい年中行事でした。屋外で山々の紅葉を愛でながら、清々しい空気の中で、料理はひと味もふた味もおいしくなります。温泉の泉質も高く、他の有名温泉郷にも引けをとらないと思います。翌日食べる打ち込みうどんが絶品で、未だにあの味が忘れられません。

平成4年秋には、香川県初の県立自然公園「大滝大川県立自然公園」が誕生しました。毎年バーベキューで塩江を訪れていた私にとっても、感慨深いものでした。おぼろげですが、当時塩江町は四季の移ろいに合わせて、町を挙げてのお祭をしていたと記憶しています。県立自然公園のオープン記念行事をお祭に合わせて開催したと思います。紅葉が山を彩る中、地元の方々に打っていただいた蕎麦をすすり、塩焼きにしたアマゴをほお張ったのですが、その旨さは格別でした。その後も、塩江を訪れる機会は結構ありました。塩江美術館で、粘土を捏ねて形づくり、手作りした焼き物は今も高松の家には有り、時どき焼酎を飲むのに使っています。もちろん、釉と焼きは専門の方に頼みましたが、また、子どもが小学生の頃は、毎年のように夏の花火まつりに出かけましたし、サッカーの交流試合にも行きました。ある年の夏まつりでは、時間帯が悪かったこともあり、駐車場が満杯で、車で通り過ぎただけということもありました。どれも、懐かしく、楽しい思い出です。

塩江は泉質の良い温泉と豊かで美しい自然に恵まれています。景色として眺めるのも良いですが、一人でも多くの方に、自然と触れ合い、自然の素晴らしさを体感していただければと思います。

校歌に想う



高松市市民政策局

地域政策課塩江支所長

和泉孝治

この度ご縁があり会報26号に寄稿させていただくことになりました、高松市役所塩江支所の和泉孝治と申します。4月の人事異動によりまして、尾形前支所長の後を引き継ぐこととなりました。前支所長同様変わらぬご厚情をいただきますようよろしくお願いいたします。私も旧塩江町の職員であり、ふるさと会発足当時に担当課として関わっており、20数年前に池田会長とお会いしてから、今もまったく変わらない会長のバイタリティーとふるさと塩江に寄せる情熱にいつも驚かされているところです。さて、現在3校の小学校が統合した新たな「塩江小学校」が平成27年春の完成に向け建設中です。また、新小学校の校歌も作成中であり、校歌に入れて

もらいたいフレーズを募集中です。それぞれの小学校の校歌はなくなることになりますが、特にふるさと会の皆さんにとってはそれぞれに思い入れがたくさんあることと思います。私の母校の安原小学校の校歌の冒頭は「阿讃の山に日が映えて奥野の桜咲くところ…」です。今年も奥野の千本桜は見事な花を咲かせ、藤澤正則様の山側から見る光景はすばらしいものでした。塩江小学校の校歌の冒頭は「香東川の水上に武庫山を背に負いて…」です。この歌詞には小学校名が全く出てきませんが、歌詞が非常に力強く塩江の情景が目につかびます。また、上西小学校の二番の校歌の冒頭は「内場の池の水すみて…」です。今、内場池はユル抜き前で満面の水を湛えています。ふるさと会の皆様はそれぞれの校歌と共に情景が浮かび郷愁の念に駆られることでしょう。今、塩江の自然を再認識し、思い浮かべる情景がいつまでも変わらないことを願うと共に、これらの財産を守っていくことが地元にいる私達の使命であると思います。

私とふるさと塩江



後藤 徹

「トオルちゃん」と懐かしく呼ばれて振り向くと。お元気そうな地元のお爺さんがいた。20 数年振りのふるさと安原西谷神社

の秋祭り。幼少のころからご近所で、お世話になった懐かしい方。獅子舞の鐘の音で話す声が途切れるが、温かい笑顔に接し溢れる程に気持が伝わる気がした。「ふるさと」とは、いつまでも変わらない景色もあるが、そのころと変わらぬ人に、出会えることだとも思う。郷里の方々と、幼馴染の同級生。時と場所が変わってもいつまでも大切にしたいと思う。ふるさと塩江を離れ 30 有余年。転勤が多く、松山、東京、名古屋、上海と離れていても、帰省時、塩江行バスを見るとホットさせられる気がしていた。疎遠になりがちの中、一昨年塩江中学校創立 50 周年記念日と、昨年の塩江ふるさと会行事に参加させて頂いた。創立 50 周年の式典に、在校生の皆様を後部席からそれと無く、そのマナーと心構えを拝見し、また、後日 3 年生の皆様と集い、スッカリ塩江中学校生のファンになってしまった気がする。仕事柄、ここ数年、短大と各大学でのセミナーの機会が増え学生と接する中で、塩江中学の皆様のマナー、そして素直なお気持ちがあれば、立派な社会人になれると確信しています。塩江中学校生の 50 年先輩として、ふるさと塩江の自然環境の良さと、温かい方々との触れ合いを大切に、未来に羽ばたくことを、塩江ふるさと会の皆様と共に応援していきたいと思っています。(高松市内在住)

第二の故郷



喜田 尊弘

私達家族(夫婦・子供三人)は平成十九年四月に塩江町へ越してきました。子供は長女五才・長男三才・次男一才なのですが、三人とも離乳食を始めた頃位から小麦と卵の食物アレルギーがあり、長女・次男は関節を中心に全身

皮膚に、長男は体内(消化器官)にアトピーの様な発疹と痒みが出ていました。子供とは残酷なまでに素直なもので、保育園での生活の中で、長男は皆と同じものを食べられないことで泣きじゃくり、長女は皮膚が荒れていることで少し敬遠している子もいて内気な性格となっていました。これはどうにかしなければいけないと夫婦で考えている折、少しでも空気と水の良い環境の所に行けば・・・と、藁にもすがる思いで、ある方との御縁から塩江町に住まうこととなりました。塩江に来て、地域の方々は快く迎え入れてくださり、子供達は食物アレルギーの数値も下がり、今では楽しく元気に小学校へ通っています。塩江に来てから家族も更に二人増え、こんなに素晴らしい環境の塩江に少しでも恩返しが出来れば・・・と今、私はほたる祭りや各種コミュニティーに参加させてもらっています。

塩江・・・ここが私達の第二の故郷です！

(塩江町在住)

塩江に来てみて、住んでみて思ったこと

立本 直樹



私が高松市南部の塩江町に来たのは三年ぐらい前です。私は大阪の人間で住宅街に住んでいました。友達が塩江町で産直兼食堂で働いていたので旅のついでに寄ったのですが居心地がよくてそのまま住みついてしまいました。その産直の仕事のおかげで町に暮らす農家の方々と色々な方と知り合う事ができ山間部の方で家を借り住まわせてもらっています。ワンコと自分の三匹暮らしです。畑も借り近所の方々の協力もあって半たんぐらい大根やらサツマイモ他少しの野菜が作れました。こちらに住む方々は山の知識や知恵があり日々感心しています。家の裏には山菜ゼンマイやワラビがよく採れ四季にあった食べ物が新鮮なうちに食べられます。今は以前働かせて頂いていた食堂はなく町の森林組合で働かせてもらっています。風呂も薪風呂で檜の玉等もらって薪にさせてもらっています。皆さん山が身近で山とうまく住んでいるので生活に無駄がなく、旬な野菜を食べ屋は鰻をおろし身体を動かしているのが元気がいいです。自分も見習い成長できたらよいと思います。(塩江町在住)



事務局よりお知らせ

① 先般、県の教育長である細松英正さん(塩江出身・尾形前支所長同級生)のお会いして面白い店のご紹介を受けました。



皆さんもご存知の塩江「いこい食堂：電話 087-893-0513」昭和の初めから続いている店で、この店の鶏ガラ中華そばが絶品、嘶家の桂文珍さんがお弟子さん達を連れて大阪から月 2~3 回程度で食べにくるそうで、目を細めて店主の三宅房夫さんが話されていました。



次に、うどん文化の香川で蕎麦に凝り塩江上西の貝の又出身の藤沢正行さんが、香川町大野のウイングポート近くで「蕎麦たちばな：電話 087-885-7318」を開業されています。

いずれも食しましたが美味しかった。



② 塩江新米は大変な好評で有難うございました。25 年度は数量制限がありましたのでこれ以上お受けできないそうです。ご了承をお願いします。
③ ふるさと会の総会(ふるさと交流)を 7 月 6 日(土) 11 時より都内千代田区六番町 15 番地の「主婦会館プラザエフ」で開催致します。地元塩江からご参加があり、会員皆さんの多数のご参加をお願いします。JR 四谷駅前(麴町側)徒歩 3 分。電話 03-3265-8111

④ 塩江中学校などで教鞭を取られていた二川利明先生が今年 1 月 26 日亡くなられた。享年 92 歳。私の中学校 3 年の担任、卒業時自衛隊生徒で横須賀に赴く時生まれて初めて万年筆を頂き感激しました。数学の先生で優しく、日本兵として中国の激戦地から生還されその模様を中学在学時に伺いました。(昭和 19 年 5 月湖南省の湘江・長沙等の洞庭湖周辺の湘桂作戦で米軍装備の蒋介石中国軍相手に日本軍 30 万動員し 1 万の戦死者を出しながら日本軍が勝利した戦いだと思います。二川先生は歩兵として従軍され山頂の争奪戦で沢山の戦友が亡くなったと述懐されていた。)昨年夏ご自宅に伺った時は大変お元気だったのに残念です。衷心からご冥福をお祈りいたします。ご子息の二川祐一さんからの訃報のご連絡でした。

⑤ 25 年度ふるさと会個人会費 ¥2,500 納入お願い。郵便局扱 口座記号 00150-2：口座番号 196649：加入者名(口座名) 首都圏ふるさと塩江会。

⑥ 25 年度の事業として、総会と松茸山再生事業(別途新たに松茸山を借りる予定です)及び 10 月に松茸狩り(椎茸と栗狩りも)と瀬戸内国際芸術祭に参加予定です。後日内容をご案内致します。

編集後記

東北被災地訪問でふるさとを失った人とこれから再興する人と様々な人に会い、町お越しと再生は、自己の利益を先行させず人のために尽くす気持ちが大切だと痛感させられました。塩江の町は大いに元気になってほしいと思います。次号は今秋を予定します。(編集人 渡邊剛至：深野裕美子)